

やすぎ 安来道路事業

受賞機関 国土交通省中国地方整備局 松江国道工事事務所

はじめに

安来道路は、国土開発幹線自動車道路と並行する路線として整備している延長18.7kmの自動車専用道路で、平成13年3月に供用開始(暫定2車線)した。これにより、鳥取県側の米子道路(淀江大山IC)から松江道路を介し、山陰自動車道(宍道IC)間までの約56kmの自動車専用道路ネットワークが整備されることになり、「出雲・宍道湖・中海地方拠点都市地域」の米子市、安来市、松江市、玉湯町、宍道町等沿線地域の社会・経済活動の活性化が図られるとともに、中国横断自動車道他の高速道路ネットワークと連携し広域的な交流が促進され、同地域の発展に大きく寄与することが期待されている。

事業の概要

事業区間：島根県安来市吉佐町～
島根県八束郡東出雲町出雲郷

事業期間：昭和61年度～

事業延長：18.7km

幅員：23.5m

道路規格：第1種第2級

設計速度：100km/h

事業費：約920億円(暫定2車線)

事業の特徴

工事では、「コスト縮減」「工期の短縮」「リサイクル」「環境対策」を考慮した様々な新技術・新工法を採用した。

中でも、「RCCカルバート工法」は、ダムや舗装



安来IC付近

工事に使用されるゼロランプのRCCコンクリートを本体に使用し、部材内部に引張り応力を発生させない形状とした無筋構造物で、鉄筋、型枠支保工などが不要となるほか、カルバート本体と周辺盛土の同時施工が可能となり、工期の短縮及びコスト縮減が達成できた。そのほか、鋼桁橋の主桁本数を従来の4～5主桁を2主桁と少なくし床版を高耐久性のPC床版とすることにより、施工の合理化・簡素化・効率化を図った「少数主桁橋」、また、発生残土の有効利用、現場発生伐採木材を木廃材粉碎機でチップ化し植栽帯のマルチング材として活用する再資源化、火力発電所で発生した石炭灰にセメントを混合し地盤改良材として利用するなど、産業間を越えたりサイクルの推進とコスト縮減に努めた。



RCCカルバート

また、工事の情報化へ向けて、いち早く建設CAS/ECを導入し、先進的な取り組みを行ったほか、貴重な古墳を現地保存するため、切土計画をパイプルーフ工法によるトンネルに変更し、歴史遺産との共存を図るなど多くの取り組みを展開した。

受賞賛助会員 アイサワ工業(株)、(株)安部工業所、イビデングリーンテック(株)、今岡工業(株)、(株)大本組、奥村組土木興業(株)、オリエンタル建設(株)、(株)ガイアートクマガイ、川田建設(株)、極東工業(株)、(株)栗本鐵工所、(株)鴻池組、国土総合建設(株)、小松建設工業(株)、(株)酒井鐵工所、(株)サクラダ、佐藤工業(株)、清水建設(株)、世紀東急工業(株)、(株)銭高組、大成ロテック(株)、大日本土木(株)、(株)竹中土木、(株)地崎工業、東亜建設工業(株)、東亜道路工業(株)、東急建設(株)、(株)東京鉄骨橋梁、(株)中筋組、西田鉄工(株)、西松建設(株)、日本国土開発(株)、日本車輛製造(株)、日本道路(株)、(株)日本ピーエス、日本舗道(株)、(株)間組、(株)ピー・エス、(株)フクダ、(株)福田組、(株)富士ピー・エス、不動建設(株)、前田道路(株)、松江土建(株)、松尾橋梁(株)、まるなか建設(株)、三井造船(株)、三井道路(株)、三菱建設(株)、(株)宮地鐵工所、(株)横河ブリッジ、ライト工業(株)